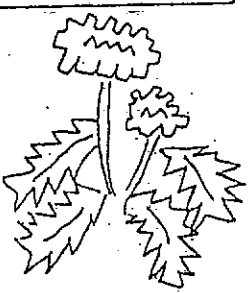




NO156
 H12年6月1日
 -発行-
 7869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



保護者便り
 「ひめたる力」
 甲斐 安男

計報

三気の里の利用者 下原 猛さんが平成十二年五月十六日午前四時三七分熊本赤病院にて心不全のため亡くられました。突然のことで、利用者、職員とも失意の中にいます。下原 猛さんのご冥福をお祈り致します。

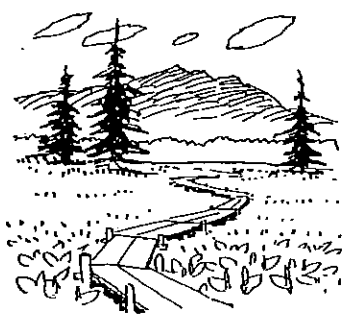
追悼文

石井 康就

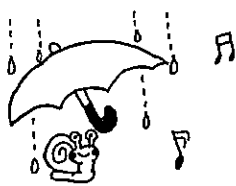
私は平成9年の4月から今年の3月までの3年間猛くんの担当をさせて頂きました。3年間という短い間でしたが、猛くんの思い出はたくさんあります。その中でも私の中で一番の思い出は、昨年11月に行った宮崎への旅行です。というのも、昨年の4月に猛くんが腰の骨を折るとい大怪我をしてしまい、その時の医師の診断は、下半身麻痺になる恐れがあるので

起き上がるのはもちろん、寝返りをうってはいけないと診断を受けました。しかし、猛くんは私たちに奇跡を見せてくれました。3カ月間ものベッドの上で寝た状態の入院生活を猛くんは本当に良く頑張りました。そんな苦難を乗り越えて歩くことができるまでに回復し、皆で行った旅行だったからです。旅行に行く随分前からとても楽しみにしていて、猛くんが私に「旅行いつ行く?」「宮崎のどこ?」と何度も尋ねてきていたことを思い出します。そんな奇跡を私達に見せてくれた猛くんだったので、今回容体が悪いと聞いた時も、最後まで猛くんならまた奇跡を起こしてくれると三気の里の皆が信じていました。今でもまだ信じられません。猛くんから私達はたくさんのお事を教えてもらいました。猛くんは私達、指導員を指導し

てくれる先生のような存在でした。猛くんはいつも何かに不安を抱き、その不安を職員へ訴えてきていました。今思うとそれは、そういう不安を私達職員に訴えることのできない利用者の方を代表して訴えていたように思えます。これからもずっと猛くんが教えてくれたことを忘れずに、大切に伝えていきます。猛くんありがとう。これからも天国からずっと三気の里を見守っていて下さい。心より御冥福を御祈り致します。



小学3年の夏休みに母、兄3人で大阪の親戚の家に行った。2泊した翌日帰宅に向かっている途中の出来事である。電車に乗り込みほっとし、発車ベルが鳴りドアが閉まろうとした瞬間、ドアのすき間からずりりとホームに降りてしまった。雑踏のホームに健二人を残して、電車は発車した。皆んなの驚きと、八方手を尽くして探したことはここで省略する。数時間後親戚宅に帰っていた。始めての大阪の地、降りたホームから地下道を通って、反対方向の電車2つ先の駅で降りなければならぬ。大人でも困難な事をどうやって帰ったのだろうか?このかくれた能力はどこにあったのか今でも誰にも判らない。「ひめたる力」をどう見付けて引き出すか今もこの課題に模索中である。



班 ニュース



1 班・レディーファーストってなあに？

風薫る爽やかな季節になりました。皆様、如何お過ごしでしょうか？開園祭を無事終え、楽しいゴールデンウィークも終わってしまい、もう何もないの？と言いたくなります。あります、あるんです、1班には。5月9日に熊本市動植物園に出掛け、天気は快晴。日ごろの1班のみんなの行いは言わずと分かります。動植物園では、まず乗り物に挑戦。みんな怖がって乗れないんじゃないかと心配しましたが自分の好きな乗り物に乗り、とても楽しめました。さて、遊んでおながが空き、いざお弁当。今回は今までと違い6種類のお弁当をベンチに並べて、好きな物を自分で選ぶという方式をとってみました。自分の本当に好きな物を選ぶ人、見た目で量の多い物を選ぶ人などなど。その中でも麻衣ちゃんは1番乗り。1班唯一の女の子とあってレディーファーストという事だったのででしょうか。お弁当を食べる時の表情はとても幸せそうでした。本当に楽しい時間を過ごす事ができました。阿南

3 班・雨と泪

5月19日(金)熊本の降水量30%…。あゝーまた雨か～と不安を抱きつつ、晴れてくれ！と天にも祈る思いでレクリエーションに出掛けました。行き先は七城町にある『鴨川河畔公園』雄大な、とまではいきませんが、小川ありアスレチックありの小さな公園です。到着した頃にはPM12時、お弁当の時間です。「高菜」「唐揚げ」「しょうが焼き」の3つのお弁当をそれぞれ選び、曇り空の下、野菜も残さずきれいに食べてしまいました。お弁当を食べたところでさあ、次は運動！アスレチックで遊ぶ人・川辺を散歩する人・ブルーシートの上で昼寝をする人・ジャンボタニシの卵を見つけてはしゃぐ職員。ナンダカンダしている間に空は真っ青、腕は真っ赤、今年は焼かないと決めていたのに5月にして腕がヒリヒリ。雨は降らなかったが私の目からは泪、泪…。井手

5 班・作業風景

例年になく暑い日が続き、また、寝苦しい夜があったりなかったりと…。皆様いかがお過ごしでしょうか。

4月より新しくなった園芸班も、早2カ月が立とうとしています。泰彰くん、正樹くんは作業を覚える為、日々努力を重ねているようです。作業の方は、種蒔き・苗の移植の時期でもあり、温室内の作業で大忙し…。蒸し暑くまさにサウナのような感じです。そんな暑さにも負けず作業を頑張る園芸班。

そんな中、ポット並べを黙々とする陽ちゃん。並べたポットへ土をいれるやっちゃん、光紀くん、敬ちゃん。移植を頑張る典くん、武彦くん、橋村くん。移植した苗に水を与える泰ちゃん。最後の仕上げで、プレートに移植した日・花苗の名前を書いてくれるしーちゃん、由美ちゃん。

こんな感じでみんなが協力し助け合いながら作業は流れており、園芸の作業は成り立っているのです。ここに書きましたのは、とある1日のみんなの作業風景であり、ほんの一部でもあります。みんな昨年とは違い、色々な作業をこなす努力を重ねている毎日です。(職員もですけど…)

現在、温室内はマリーゴールド・バジル・千日紅等の花苗でいっぱいですので、一度見学にでも足を運んで見て下さい。こんな園芸班をよろしく願います。

話は変わりますが、岩戸の里へ花苗を置かせて頂けることになりました。温泉に入るついでに見て頂けると嬉しい限りです。笠松

2班・雨のち快晴

爽やかな風が頬をつたい、周りの緑もキラキラと輝き目を楽しませてくれるこの頃…。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

さて、新メンバーを迎えにぎやかになった私たち2班は、去る5月11日（木）にレクリエーションで、熊本市内にあるクリスタルモールへ買い物に行きました。（本来は、熊本動植物園に行く予定だったのですが、朝から雨が降っていたため、急遽予定を変更しました。）クリスタルモールでは、買い物を十分に楽しんでいたさゆりさん、泰貴くん、由布子さん。とってもおいしそうなイタリアンジェラートを自慢気に食べていた幸恵さん。昼食のときに大～好きなビールを頼んで「おお～♪」と大喜びだった雄一くん。まだまだ、買い物をしたい…と思いつつもクリスタルモールを後にして、次に向かったのは運動公園。運動公園に着いたころには、雨はすっかり上がっていて太陽も顔を覗かせていました。ここではおやつを食べた後、ターザンロープで『ヒューン』と上手に遊んでいた博くん、明日香さん。草スキー場でソリを使って『ひゃあああ』と言いつつも満面の笑顔を見せていた淳くん、聡士くん、一裕くん、文彦くん。みんなの笑顔が太陽より輝いていたレクリエーションでした。今回は病気のため参加できなかった方紀くん。今度のレクリエーションは、一緒に行こうね！ 広瀬

4班・日に焼けたぞー

新緑の眩しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私たち農耕班は、トウモロコシの種を蒔き、キュウリ・ナス・トマトの苗を植え、おいしい野菜が育つようにと、水まき、草取りの作業を行っています。

そんな中、去る5月25日にレクリエーションで熊本市運動公園へ出掛けました。この日の気温はナント34℃！本当に5月？？というような暑さでした。照りつける太陽の下でお弁当を食べた後はお待ち兼ねの草スキー！貸し切り状態の中で、何度も何度もソリで滑って楽しんでた新一くん、聡くん、高志くん、浩一くん、隆博くん、憲幸くん、亮くん、洋一くん、緑恵ちゃん、久美ちゃん、藍ちゃん。ソリを使わずに滑り落ちてしまった創くん、英俊くん。怖がっていたけれど一人でソリで滑れるようになった潔くん、一精くん。ソリで滑れたし、写真も撮れたしで大満足のるり子さん。職員も大喜びでした☺

暑いので涼みに行こう、と次に向かった場所は、西原村の白糸の滝です。ひんやりと冷たくてとても気持ちの良いところでした。みんなで水をかけあって遊んでいると、ここで思わぬハプニングが…上野指導員が足を滑らせて、滝に落ちてしまいました！（といっても足だけですが…）裸足で帰った上野指導員でした。さて、来月は一体何が起こるのでしょうか？！ 石田

6班・仕分け作業

4月より作業に仕分けを取り入れた6班元気班。

みんなの担当している仕事を発表します。以前からの洗濯仕分け班の人と一緒にがんばっているのが美緒さん、綾ちゃん。タオルの仕分けをしているのが中嶋くん。そのタオルを綺麗に畳むのが民さん。それから片付けるのが有働さん。洗濯物干しが富田さん、松島さん。靴下干しが忠ちゃん。その応援団があっちゃん、ゆかりちゃん。仕分けを始めたころは、みんな出来るのか心配していたのですが、私の心配もよそに、とても頑張っています。あと、目標にしてほしいことが二つほど。

☆6班の皆さ～んもう少しだけ、集合時間を頑張って早くしましょう。

☆お喋りはほどほどに、人のことは気にせず自分の仕事を手早く終わらせましょう。

以上の事が出来るようになったら、みんなきっとプロの仕分け班になれると思っているのは、私だけでしょうか？ 大橋

ステキな贈り物

今村 由紀

昨年十一月、全国自閉症者施設協議会神奈川大会の研修に参加させて頂きました。福祉先進区の神奈川でのとりくみを、四つの分科会に分かれて実践報告されました。私は「自閉症の就労援助」をテーマとする第一分科会（四名の方が実践報告されました）に参加しました。

実践報告の中で特に心に残ったのがジョブコーチについてでした。「ジョブコーチ、何？」って思われる方も多い事でしょう。実は私も今回の研修で始めて知りました。ジョブコーチとは職場に付き添って、障害のある人が自立して働けるようさまざまな支援を提供する人（自閉症の文化と一般の文化の橋渡し役）のことです。援助形態としては、障害のある人に、ジョブコーチがマンツーマンでついて支援する方法（自立度に応じて、徐々に職場にいる時間を減らしていきませんが、フォローアップとし

て定期的な状況把握や問題解決を続けます。）と、一人のジョブコーチが同じ職場で障害をもつ人を複数名（三〜四人以上）援助していく方法（働いている人がいる限りジョブコーチが付きまします。）があります。

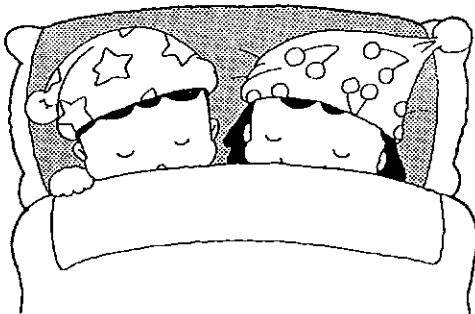
では、具体的には何をするのでしょうか。ジョブコーチの援助技術とは①わかりやすく仕事を教える。―企業の人より効率よく、早く、課題分析に基づいて教える。ジョブコーチが自分で合理的なやり方を見つけ、細かいステップで（具体的に）プログラムをたてる。いろいろな指示書（文字・絵）を出しておく、必要な時ジョブコーチが介入する。②環境を整える、工夫をする。―構造化だけでなく疲れないよう物理的な（マットを敷く等…）工夫をする。本人へ周りの刺激が少ないように独立した作業場面をつくる。ジョブコーチが側にいなくても一人で出来るようにする。③ナチュラルサポートの形成―職場においてジョブコーチ以外の一般の人（従業員）が障害のある人の就労援助継続に必要なさまざまな援助を提供する。

（残された援助を従業員へ移す。自立しても何らかの援助が必要。）の3つです。

ジョブコーチときの就労は、利用者にとっては「就職したところで学ぶ」職員にとっては「企業に出向いての指導」になります。一般の人が働いている会社には必ず自閉症の人の仕事があるそうです。その人の能力に応じて今より一歩上へ上がる、働く力があれば施設でなく地域で働くべき、生活の楽しみ（週末の食事や買い物等）に結び付けて働く意欲・定着力をつけていく。就労を最終目的にするのではなく自立生活を支援する一つのステップとして捉えてあります。利用者の方の力をのばす、可能性を引き出すのも援助する私達にかかっています。常に先のことを見据えて今出来ることを一つ一つ取り組んでいくこと、柔軟な発想で取り組むことが、私達に求められていると思います。わかりやすく伝えられるよう、いろいろな工夫・配慮が出来るよう勉強し、技術を身につけていく必要性を強く感じました。

実際に、失敗したら戻れるよう

施設に在籍したまま働いている自閉症の人達がいるそうです。障害のある人が就労したことでその職場が、通勤の交通機関でまわりの人の様子（見る目）が変わり、優しくいい雰囲気になったそうです。別の研修で聞いた“どんなに科学や医学が進んでも数%の割合で障害を持った子どもが生まれる。それは人が優しい気持ちを持たないようにと神様がプレゼントしているから”を思い出しました。



開園記念祭

榎本 英也

4月29日(土)快晴の中、三氣の里13周年・三氣の家6周年開園記念祭が行われました。今年度は式典の前に故田中稔施設長の記念碑除幕式が行われましたが、松田理事長から記念碑に刻まれている「光照天地、想い」の刻まれた理由、功績などを話され、出席者全員田中施設長のことを偲んでいました。

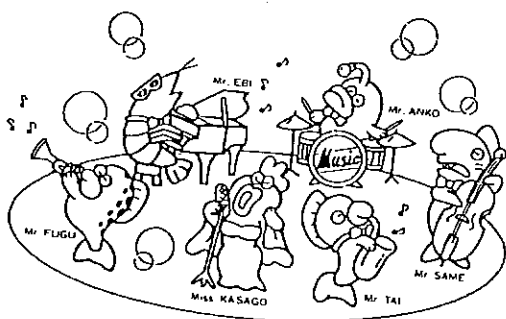
式典では施設長、保護者会会長挨拶、三氣の里ミュージックベル、三氣の家ダンスの発表などがありました。特にミュージックベルダンスの時は、わが子を追う保護者の方の視線が印象的でした。

(永年勤続表彰の金丸 綾子さん、10年間お疲れ様でした。)

各コーナーは運動場、作業棟などを使って行われましたが、例年の参加者に加え、大津南小音楽クラブ、森子供会の方々も参加されたこともあり、約500名前後の人出で盛況でした。(昨年のコーナーに加え、カラオケ、コンサートコーナー、デザートコーナー、迷路コーナーが新たに催されまし

た)

最後に開園記念祭にご協力いただいた九州ラーメン党、コンサートコーナー、保護者の方々誠にありがとうございました。来年度も今年度の反省を基により良いものにして行きたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



開園祭ボランティアありがとう



食卓王宮卒業中

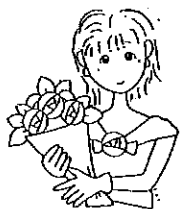
『十年目を振り返って』

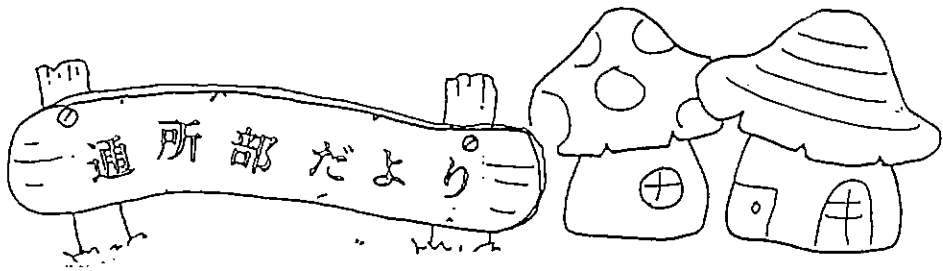
三氣の里で働くことになったのは、当時、人手不足で大変だった厨房に、手伝いとして入ったのがきっかけでした。大量調理など今まで体験したこともない素人で、慣れない仕事に四苦八苦。また

『自閉症って?』尋ねていたくらい施設のこと、自閉症のことも何も知りませんでした。十年と言う月日の中で色々なことを学ばせていただきました。食事面だけでなく、宿直、宿泊レクリエーションなどで、入所者の皆と接することも多く、時には指導(把握)する場面もあり、始めのころよりは、分かってきたつもり!...?です。入所者数も80名と増え、日々の忙しさに振り返ることもないある日、誕生会で入所者の年齢を聞いて、もうそんな歳だったの!老けたね!と驚いていたら、自分も同じくらい歳をとっていたことに気がついたこのごろです。金丸

- 杉本 恵・今村 海
- 熊迫 直子・右山 知子
- 下尾 碧・芹川 祥子
- 高口 知春・倉岡 優子
- 加藤 裕子・植田 綾
- 長洲さくら・中尾 麻美
- 太田黒幹子・江口 弥穂
- 菅原明日香・荒川 郁子
- 中垣 知子・磯部 武志
- 農 友美・奥村 恵美
- 渡辺恵理香・吉永美奈子
- 林谷由起子・西代 沙織
- 富永真友美・坂田 直子
- 稗田まゆみ・永田 昌美
- 富永 泰葉・米村 久美
- 森 渚・岡田めぐみ
- 小河 礼佳・甲斐久美子
- 大津 綾・林田 梓
- 那須 慶子・前田 理沙
- 佐藤 友海・千々和真木
- 木田 良美・倉岡 里江

※敬称略





6月の通所部行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
1日	◎体重測定	6日	◎レクリエーション	20日	◎卓ちゃん誕生日	23日	♥健康診断
24日	◎保護者会	3日・4日・10日・11日・17日・18日・25日・26日	休み		◎体重測定	休み	
4	休み	5	◎レクリエーション	7	8	9	10
11	休み	12	13	14	15	16	17
18	休み	19	20	21	22	23	24
25	休み	26	27	28	29	30	
	振替休日						



通所部通信

通所部の窓を開ければ新緑の香り、裏には野苺がたくさん、毎日私達のおなかの中に入っていきます。

先日、歯科専門学校の学生さんが通所部へ検診に来て下さいました。若くてきれいな学生さんに照

れて下を向いていた卓ちゃん、少しずつ顔を上げ口を大きく開け、検診です。染め出しをすると、真っ赤になりました。「卓ちゃん、

真っ赤になっちゃよ」と言われ、笑いながら「真っ赤？」と答えています。学生さんに「あつ、虫歯

があるよ。歯医者さんに行つてよ。」と言われると「ここ（三気の里）が忙しかもん（だから、休んで歯

医者には行けない。）」と言っています。いつもより大きく口を開

けている自分に気付いたのでしょ

う、「今日は（僕は）別人。」と言つて、卓ちゃんがちょびり緊張

していた学生さんの心を和ませて

歯をみがこう

語録集をつくらうか：なんて通所部で話しています。

貴くんは、白衣がちょびり怖かったのでブラッシングの指導だけ受け、最後は握手をして学生さんと別れました。来年は、大きな口を開けて染め出し・検診が出来るように毎日、歯磨きと仕上げ磨きをがんばらうね、貴くん。

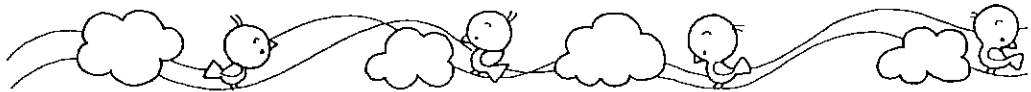
まいちゃんは体調が悪く、検診を受けることが出来ずに残念。まいちゃんのステキな笑顔を来年は学生さんに見せてあげましょう。

歯を磨きましょ、シュツシュツシューと歌を歌いながら歯を磨いてる姿もね、まいちゃん。

今村

6 月 の 行 事 予 定

月	火	水	木	金	土	日	備 考
◎ お誕生日おめでとう! (ゆかりさん、祥一くん、友和くん、蒼くん、松井くん、葵貴くん)			1 ゆかりさん誕生日(34)	2	3	4	
5	6	7 ■ 3班レク 祥一くんの誕生日(19)	8 ■ 1班レク	9 灰知くんの誕生日(24)	10 蒼くんの誕生日(26)	11 ◎ 輝き大会	
12	13 ■ 4班レク	14 ■ 2班レク	15 △ 日本脳炎予防接種	16	17	18	
19	20 ■ 5班レク	21 ■ 6班レク	22 ♣ 誕生会	23 ♡ 健康診断 松井くんの誕生日(27) 葵貴くんの誕生日(24)	24 ■ 保護者会	25	
26	27	28	29	30	◎ 11日(日)輝き大会 △ 15日(木)日本脳炎予防接種 ♣ 22日(木)誕生会 ♡ 23日(金)健康診断 ♣ 23日(金)たんぼぼ編集日 ■ 24日(土)保護者会		



ポランティア通信

初夏の日差しがまぶしい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

4月に行われた開園記念祭では、多くのボランティアの皆様の協力有り難うございました。おかげさまで、すばらしい開園記念祭となりました。初めて三気の里に來られた方も少なくないと思います。せっかくの出会いです、これを機にまた三気の里へ遊びに來られますか?みんなの笑顔が待っていますよ。

7月末には夏祭りが行われます。お時間があれば是非お越し下さい。
岩本

(ボランティアありがとう)

☆散髪 田畑美智子

☆生け花 西村 栄子

※敬称略

去る5月15日・16日に、多くの方のご協力を得て、三気の里から散歩道(農道)へ通じる小道を整備しました。

森地区 西本区長 他10名

保護者 下原 澄江・渡邊 光紀

金森 保・藤井 法仁

元田 道雄・森川 瑠介

※敬称略

ご協力ありがとうございました。
編集後記

皆様、1カ月ぶりに手に取ったたんぼぼはいかがでしたか。今宵もタンポポ編集部はおなかの音を気にしながら夜なべをしております。新入部員の私は、何もできずにオロオロするばかり……

「こんな風にしてたんぼぼってできてるんだあ」

今までたんぼぼファンクラブの一員だった私はドキドキ・ワクワクしながら出来上がりを待つのであります。

あっ、そろそろ出来上がりそうです。憧れの部長の背中にこっそり視線を送りつつ、ワープロを打つ私。

「さあ、終わったぞ」

部長の掛け声で今回のタンポポ編集もやーっと終了です。お疲れ様でした◎。

平山